



ホンダ フリード フリード ハイブリッド

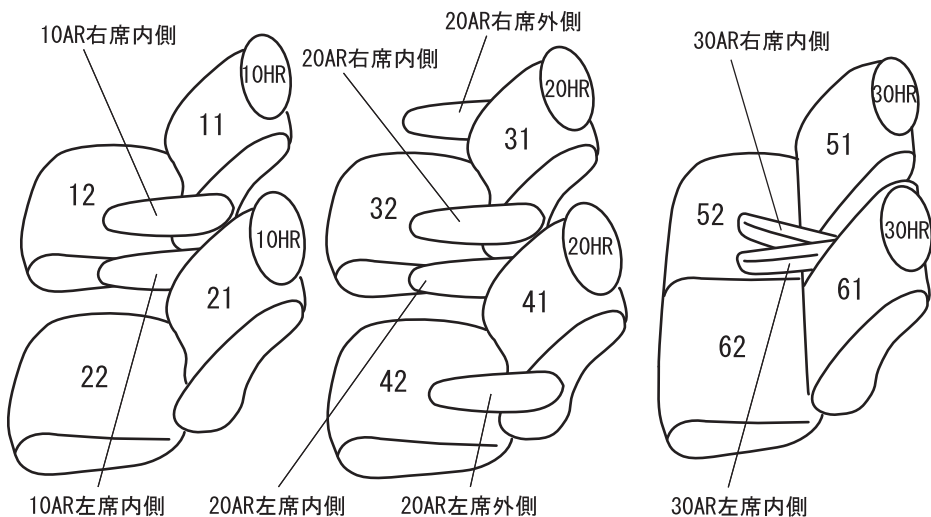
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

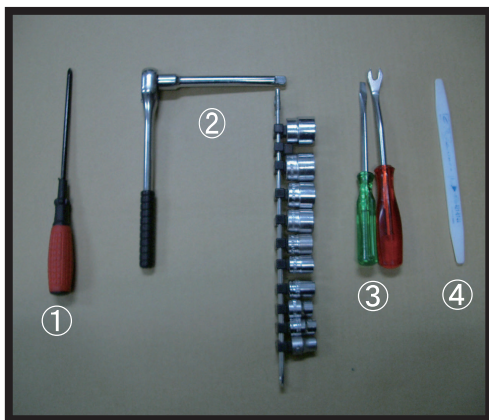
0435/0436/0437

本製品シート形状とパーツの名称



※図は6人乗り仕様 (0436)

取付必要工具



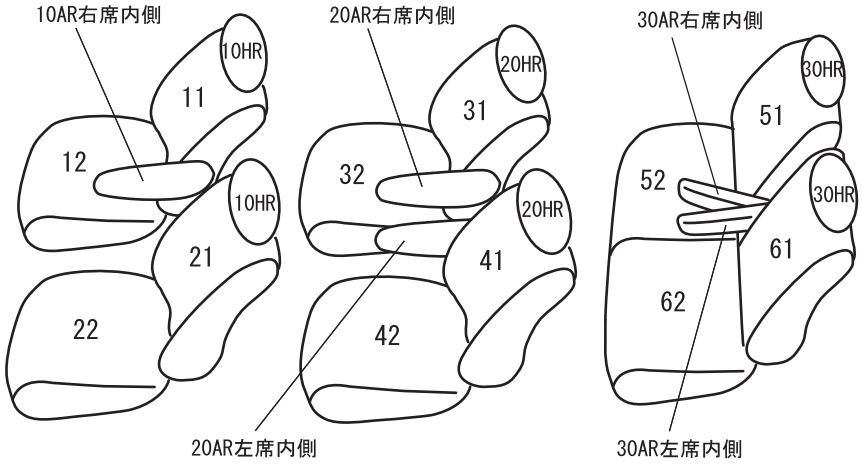
工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

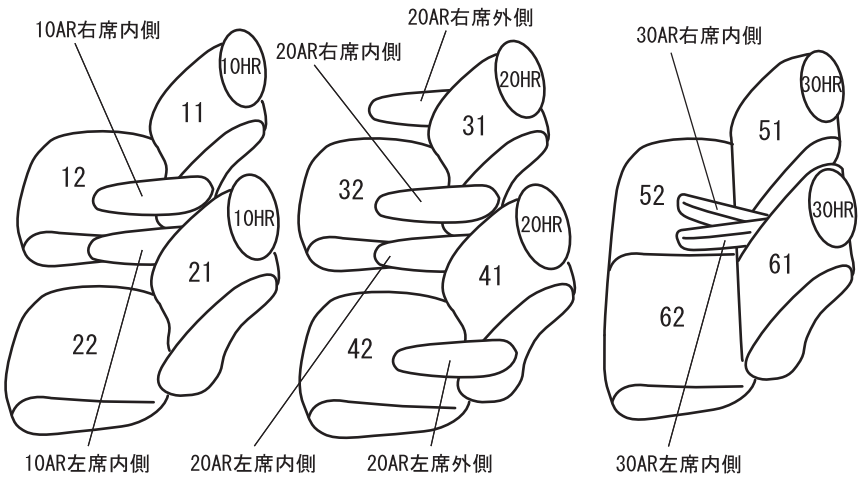
*この車種では、②の工具を使用します。

*この車種では、①と③の工具は使用しません。

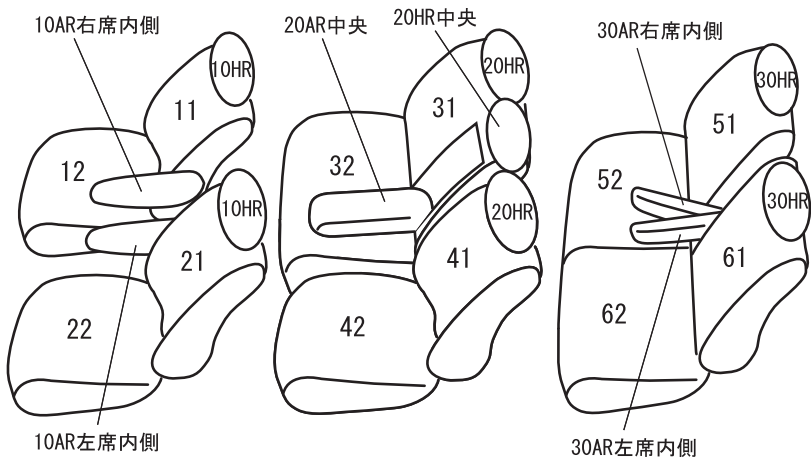
0435 レイアウト図



0436 レイアウト図



0437 レイアウト図



0435 : 6 人乗り
助手席アームレスト無し
2 列目外側アームレスト無し

0436 : 6 人乗り
助手席アームレスト有り
2 列目外側アームレスト有り

0437 : 7 人乗り

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状(2番参照)の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



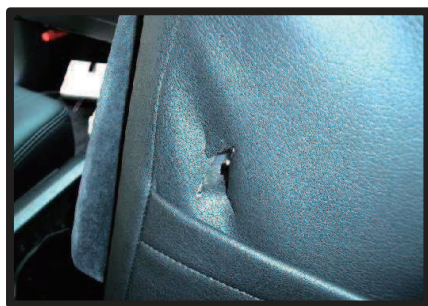
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



①サイドエアバッグ装備車は背もたれ下から座面裏に回っている図の部分を外して、カバーの取り付けを行います。図の部分は座面裏にフック2ヶ所で留まっています。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、後ろ側から引き出します。



②シートのラインに合わせてカバーの位置決めをします。



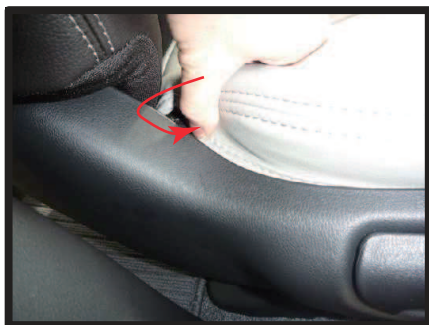
⑤サイドエアバッグ装備車はシートの裏側に配線がありますので、配線をかき、生地を引き出します。



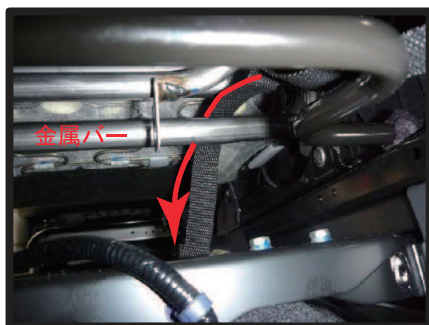
③シート全体にカバーをかぶせます。



⑥カバー側面の生地をシートのプラスチック部に入れ込みます。



⑦外側面の背もたれ付近の生地は、シート裏に巻き込むように入れ込みます。



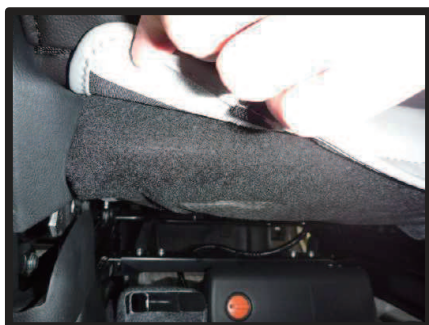
⑩カバー前側に付いているベルトをシートの裏側を通し、後ろ側から引き出します。この際、運転席側には図のような金属バーがありますので、ベルトは上側を通すようにします。



⑧内側面の背もたれ付近の生地は、重なり合った上側の生地を側面に入れ込み、内側の生地は図のようにシートの内側に入れ込むようにします。



⑪後ろ側から引き出したベルトは、⑨で固定した生地が付いているバックルに通し固定します。
※固定方法は巻末のベルトの通し方を参照して下さい。



⑨1ページ④で引き出した生地は、マジックテープでシートに直接固定します。



⑫カバーのラインを整え、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から6枚目と7枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- ①背もたれカバーの装着前に、アームレストを取り外します。
ヘラ等を使用し、プラキャップを取り外します。



- ④アームレスト取り付け部は、図のようにカバーの加工穴でかわします。



- ②ソケットレンチ等を使用し、アームレストを固定しているナットを外すと、アームレストを取り外せます。



- ⑤サイドエアバッグ装備車は1ページ①で外したカバーをめくり上げ、背もたれカバーの中に入れ込みます。



- ③カバーを半分程裏返した状態で、背もたれのラインに合わせ、かぶせます。この際、肩口までしっかり入れ込みます。



- ⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦入れ込んだ生地を裏側から引き出します。

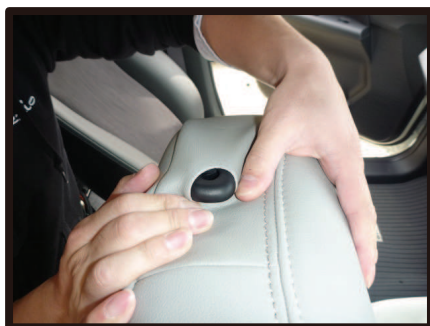
※サイドエアバッグ装備車はシート
の裏側に配線がありますので配線
をかわし、生地を引き出して下さい。



⑩固定した生地の前には、ゴムが
付いているので、付属のS字フック
を取り付け、座面裏の金具部分に引
掛け固定します。



⑧図の①～③の順番に生地をなで
下ろしてシートに密着させるよう
にしわを無くしていきます。



⑪ヘッドレストの台座部分を穴から
取り出します。生地伸びを利用し
て横からもぐり込ますように取り
出して下さい。無理に入ると破れ
る恐れがありますのでご注意下さい。



⑨⑦で引き出した生地と背もたれ
背面をマジックテープで固定し
ます。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されてい
るシートでは、こちらの固定が正
確にできていないと、サイドエア
バッグが開かない可能性があります
、危険です。



⑫サイドエアバッグ装備車は、サ
イドエアバッグの展開部分とシート
カバーのSAB対応の縫い目部分が
合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整え、1列目運
転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面 (キャプテンシート)



①座面カバーの前側には、大きなフック状のプラスチックパーツが付いています。

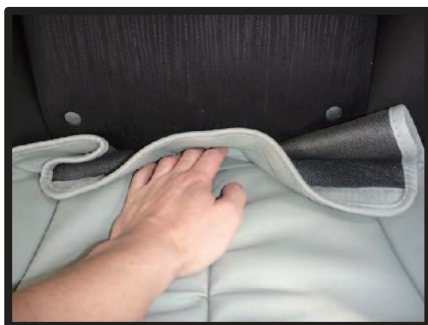


④シート全体にカバーをかぶせます。



②シート裏側にある、シート本体の生地を固定しているフックの上からカバーのプラフックを固定します。

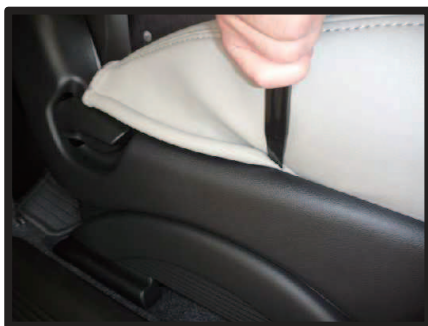
※固定方法は巻末のプラフック大の固定を参照して下さい。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



③正しく固定すると、このようになります。



⑥カバー両側面の生地をシートのプラスチックパーツ部に入れ込みます。

2列目背もたれ (キャプテンシート)



⑦5ページ⑤で入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。



①1列目と同様に2列目背もたれを装着します。



⑧引き出した生地を、マジックテープでシートに直接固定します。



②2列目背もたれは、カバーの固定方法が異なります。
※固定方法は巻末のプラフックの固定を参照して下さい。



⑨カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側も同様に固定します。

2列目座面 (タンブルシート)



①座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



④シートベルト収納部の形にカバーの生地を合わせます。



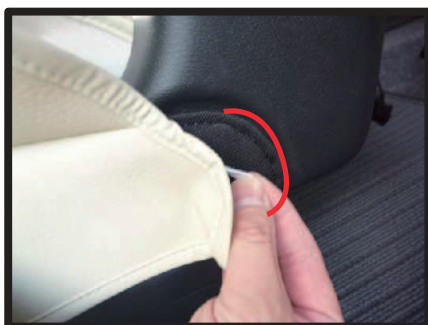
②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤外側面の生地をシートのプラスチック部に入れ込みます。



③シートベルトをカバーの加工穴から取り出します。



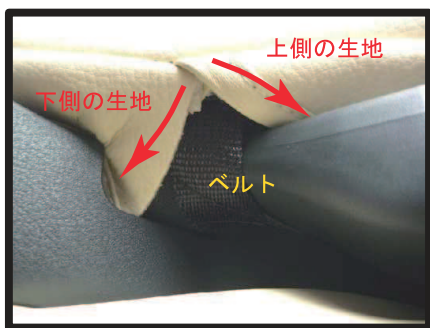
⑥内側面は生地に付いているゴムを図の赤線の位置に引っ掛けて固定します。



⑦シートベルト収納部の形にカバーの生地を合わせます。



⑩7ページ②で入れ込んだ生地を引き出し、マジックテープでシートに直接固定します。シートの土台と本体の隙間にベルトを通します。



⑨助手席側のシートベルト収納部の生地は、重なり合った上側の生地はベルトの前側に入れ込み、下側の生地はベルトの後ろ側に入れ込むようにします。



⑪シート下からベルトを取り出し、カバー前側で1列目と同様に固定します。※ベルトは図のようにシートスライドバーの上側を通して下さい。



⑨シートを跳ね上げ、カバー側面に付いているヒモを、図の赤線のように沿わせ、カバー裏側に付いているループ状のガイド（図の○部）に通し、固定します。※固定方法は巻末のヒモの結び方を参照して下さい。



⑫カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

2列目背もたれ (タンブルシート)



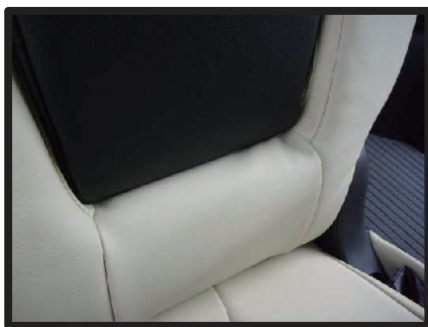
①背もたれカバーを半分程裏返した状態でかぶせます。アームレストは図のようにカバーの加工穴を通します。



④アームレスト下部にカバーの生地を入れ込みます。



②1列目と同様にカバーを装着し、マジックテープで固定します。



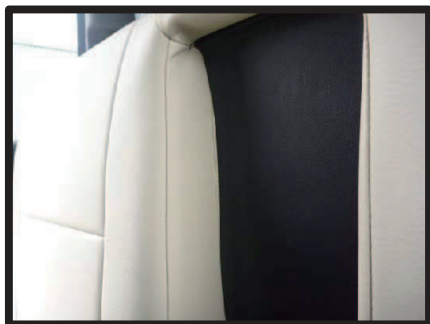
⑤正しく入れ込むと、このようになります。



③ヘッドレストの台座を取り出します。



⑥アームレスト収納部にあるプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。



⑦アームレスト収納部上側と左右の生地を入れ込むと、このようになります。



⑧背もたれ付け根付近の生地をヒンジ部の隙間に入れ込みます。



⑨カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も一部形状が異なりますが同様に取付けます。

3 列目座面



①シートラインに合わせ、前側からカバーをかぶせます。



④シートを跳ね上げ、カバーの加工穴からシート吊り下げ用ベルトを取り出します。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、後ろ側から引き出します。



⑤③で入れ込んだ生地①を引き出します。



③外側面の座面跳ね上げヒンジ部の隙間に生地①を入れ込みます。
※隙間が狭いので、ヘラ等を使用すると作業がしやすくなります。



⑥引き出した生地①の横にある、生地②をヒンジ部をかわずよう引き出します。



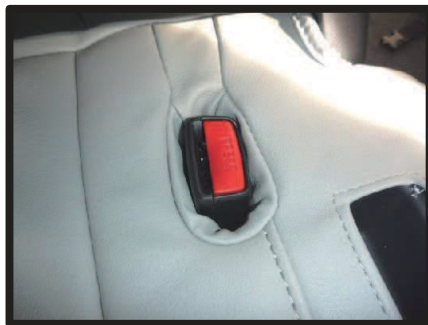
⑦シート裏を覆うようにカバーをかぶせ、11ページ⑤⑥で引き出した生地①②とマジックテープで固定します。



⑩⑨の左側（内側面方向）の生地は、ヘラ等を使用し、シートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑧シート裏から後ろ側へかぶせた生地と内側面の生地を11ページ②で引き出した生地とマジックテープで固定します。



⑪シートベルト部に生地を入れ込みます。

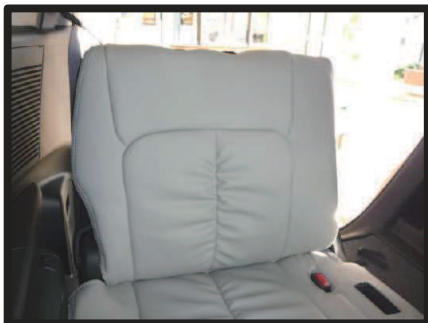


⑨正しく固定すると、このようになります。



⑫カバーのラインを整え、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に付けます。

3列目背もたれ



- ① 1列目と同様に3列目背もたれを装着します。



- ② 3列目背もたれは、カバーの固定方法が異なります。
※固定方法は巻末のプラフックの固定を参照して下さい。

ヘッドレスト



- ① 1列目ヘッドレストにカバーを半行程裏返した状態でかぶせます。



- ② ヘッドレスト全体にカバーをかぶせラインを整えます。



- ③ ヘッドレストを台座から取り外し、カバー底面で固定します。
※固定方法は巻末のプラフックの固定を参照して下さい。



④正しく固定すると、このようになります。



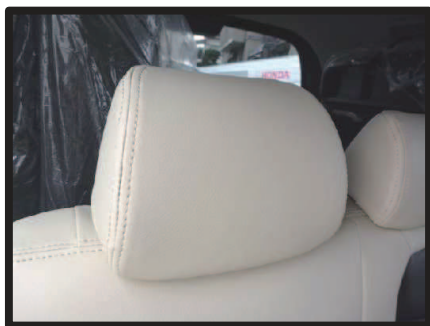
⑦2列目タンブルシート車のセンターヘッドレストは、カバーをかぶせる際、一方の側面にカバーをかぶせた状態で、生地伸びを利用し、もう一方へ引っ掛けるようにかぶせます。



⑤ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。
2列目キャブテンシート車のヘッドレストも同様に取り付けます。



⑧カバーをかぶせ、ラインを整えます。固定方法は1列目と同様にします。



⑥2列目タンブルシート車のヘッドレストも形状が異なりますが、同様に取り付けます。



⑨3列目ヘッドレストは、カバーをヘッドレストの下側から後ろ側へかぶせるようにします。

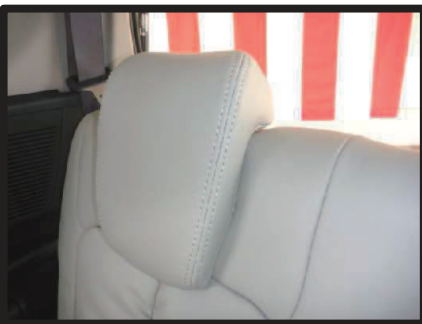
アームレスト



⑩ヘッドレストの後ろ側へ生地をかぶせ、ラインを整えます。



⑪ヘッドレストを台座から取り外し、カバーの裏側に付いているマジックテープとブラフックで固定します。



⑫ヘッドレストを元に戻し、カバーのラインを整え、3列目ヘッドレストの完成です。



①背もたれカバー装着時に取り外したアームレストに、カバーを半分程裏返した状態でかぶせていきます。この際、アームレストの先端までしっかりカバーをかぶせます。



②アームレスト内側のみ、最後までカバーをかぶせた状態で、図のようにアームレストを取り外した逆の手順で、背もたれに取り付けます。



③カバー後方にあるファスナーを閉じます。



④カバーのラインを整え、1列目アームレストの完成です。



⑦タンブルシートの2列目センターアームレストは、カバーをかぶせてブラックで固定します。



⑤2列目キャプテンシート車のアームレストも同様に取り付けます。

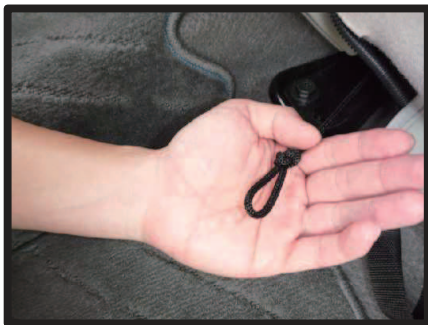


⑧正しく固定すると、このようになります。

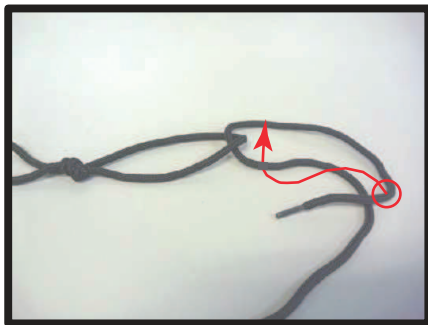


⑥3列目アームレストも同様に取り付けます。

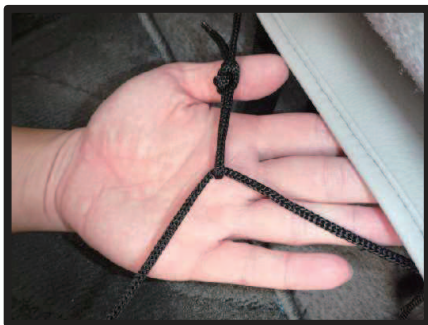
ヒモの結び方



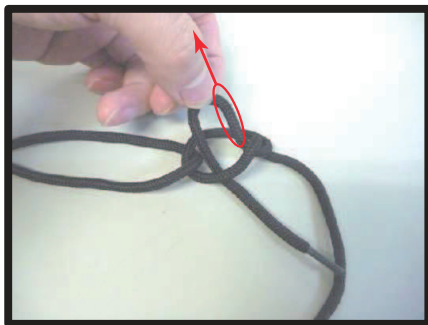
①カバー両側面に付いているヒモの一方で、図のような輪を作ります。



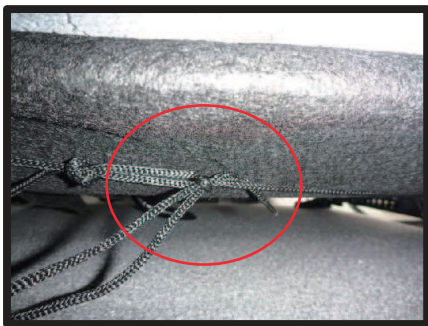
④ヒモの結び方は、引き絞ったヒモを（図の右側）輪のようにし、矢印部分をつまむようにして輪に通します。



③①で作った輪に、もう一方のヒモを通します。



⑤通したヒモの○側を引っ張ると、ヒモが結ばれます。
※ヒモの先端側を引っ張ると、ヒモは結ばれません。



③通したヒモで、シート下回りを引き絞り、結び留めます。

※ヒモを強く引っ張りすぎると切れる恐れがありますのでご注意ください。



⑥正しくヒモを結び留めると、このようになります。
この状態でヒモの先端側を引っ張ると、ヒモが簡単にほどける結び方になります。

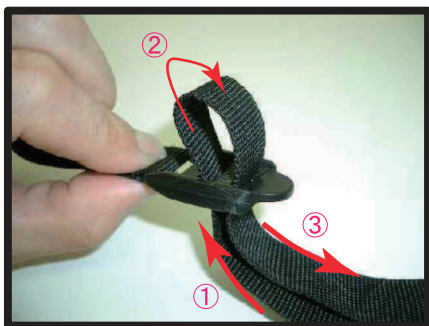
ベルトの通し方



①カバーに付いているベルトを、バックルが付いている生地側に引き出します。



②バックルにベルトを通し、引き絞る事で、カバーが固定されます。

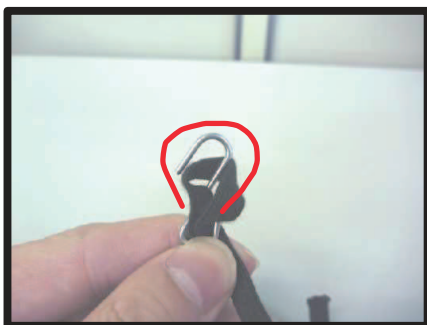


③ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締まり固定されます。
※強く引き過ぎるとベルトが切れる恐れがありますので、ご注意ください。

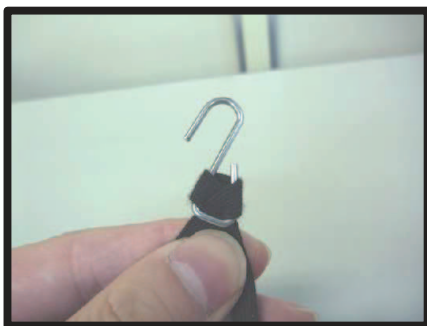
S字フックの取り付け方



①ゴムとS字フックの取り付け方は、始めに図のようにS字フックにゴムを通します。



②通したゴムを、図の赤線のようにしてS字フックにかぶせます。



③かぶせたゴムを引き絞る事で、図のようにS字フックがゴムに固定され、外れにくくなります。

プラフック大の固定

※背もたれや座面カバー等に付いているカギ状のプラスチックパーツ（プラフック）には、生地を表側に付いているタイプと生地の裏側に付いているタイプの2種類があり、それぞれ固定方法が異なります。



①生地の表側に付いているタイプ



②生地の裏側に付いているタイプ

プラフック：表側



①図のように生地の表側にプラフックが付いている場合。



②シートの底面を見ると、図のようにシート本体の生地がプラフックで固定されている場所があります。

※例：図の○部

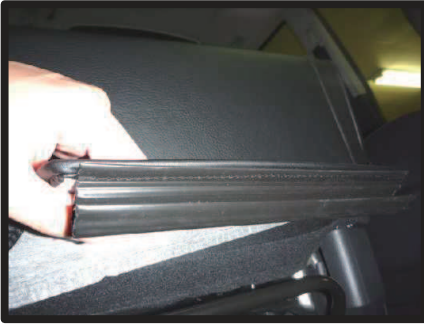


シート本体の生地のプラフック

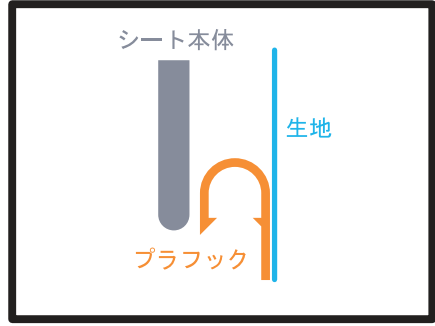
シートカバーのプラフック

③シート本体の生地を固定しているプラフックの上から、カバーのプラフックを引っ掛けて固定します。

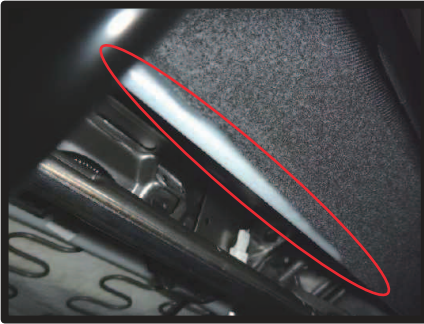
プラフック：裏側



①図のように生地○の裏側にプラフックが付いている場合。



④ここからは、分かりやすいようにイラストで説明します。



②シート○の底面を見ると、図のようにシート本体の生地がプラフックで固定されています。

※例：図の○部



⑤プラフックは、生地と共に180度折り返し、シート本体に下から上へ引っ掛けるようにします。



③②で確認したシート本体に固定されているプラフックの上から、カバーのプラフックを固定します。



⑥正しく固定すると、このようになります。

プラフックの固定

※図は、ヘッドレストを例にしています



①ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のプラスチックと平らなプラスチックを使用して固定するものがあります。

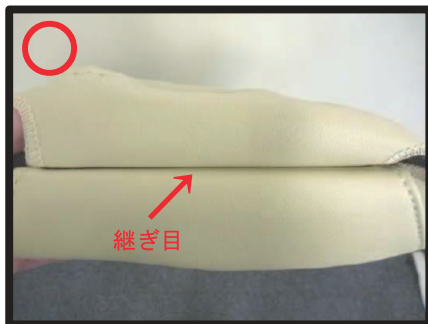
※例：ヘッドレスト



②プラフックの固定方法は、カギ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



③間違った固定方法です。平らなプラスチックのみをカギ状のプラスチックに引っ掛けるだけではしっかり固定出来ません。



④正しくプラフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



⑤間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に、図のように平らなプラスチックの縫製糸が見えてしまいます。



⑥例で使用したヘッドレストの場合はこのようになります。

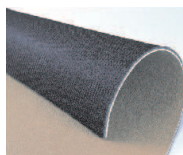


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

